

日本薬剤師研修センター主催 1日薬局実務実習を経験して

○岸川 哲子、野田 千里、白石 貴裕、白石 孝生
(株)ユネット 清風薬局

【目的】保険薬局の実務実習モデル・コアカリキュラムの到達目標のうち、経験しづらい分野を、実務実習したので報告する。清風薬局の認定実務実習指導薬剤師 白石氏のもと、漢方薬製剤、薬局製剤、学校薬剤師業務、OTC薬販売の4分野を行った。

【内容】1. 漢方薬製剤 日時:平成23年9月17日、実習製剤:葛根湯(湯剤)、手順:薬局製剤(漢方薬含)に関する質疑応答後、調剤(きざみ生薬を秤量、混合、ティーパックに充填)、薬袋に封入した。2. 薬局製剤 日時:平成23年9月18日、実習製剤:感冒3号A、鎮咳剤6号A、D・Hクリーム、ヒドロコルチゾン・ジフェンヒドラミン軟膏、手順:製造手順に従い、調剤、監査、薬袋封入、検品した。3. 学校薬剤師業務(小学校) 日時:平成23年11月2日、a. 薬物乱用防止公演 b. 照度検査 c. 空気検査デモ 手順: a. 薬物乱用防止公演に助手として参加した。b. 照度検査は、コンピューター室の照度測定を行い、記録と改善の案出しをした。c. 空気検査デモは、ストーブ設置前の教室で解放時測定を行った。4. OTC販売 日時:平成24年2月11日、手順:第1種OTC薬と添付文書の確認、OTC薬陳列状態の把握を行った。また豊富なOTC薬の種類を見ていき、来客時は、問診(症状、既往、体質等)しトリアージを試みた。

【成果】1. 漢方薬製剤 生薬の入手と保管法を知り、きざみ生薬の均等分割の練習を行うことができた。2. 薬局製剤 薬局製剤の意義、製造と許可や陳列法を知り得た。また実習製剤の成分、用法用量、適応症、注意点を理解し、製造記録の記帳や検品も学べた。3. 学校薬剤師業務 講演への小学生の関心の高さを知り、講演の意義を再確認した。照度や空気の検査法と評価の方法を学んだ。4. OTC薬販売 実践的なトリアージを試みることもできた。

【考察】薬局製剤(漢方薬含)は、薬剤師にしか許可されない製造医薬品であり独自の職能である。実習中に、店頭に並んだ薬局製剤の感冒薬を、「いつもこれを飲んでいる」と買ってくれた人に、心温まる思いがした。そんな地域の人々の健康を守る為に、トリアージはとても大切である。また学校薬剤師は、その歴史や業務内容から、子供達の健康を守る意義ある社会活動の1つと感じた。実習をとうして、薬剤師の職能の幅と存在意義を知り得た。

【キーワード】職能の幅

実践実習
日本薬剤師研修センター主催
1日 薬局実務実習を経験して
P-271
○岸川智子(実習)、 野田千早、白石貴裕、白石孝生
(教)ユネット 清風 薬局



2012/10/07



2012/10/07